

はなわ 議会だより

2015
No.131

発行／福島県塙町議会
平成27年7月17日



少子高齢化問題に迫る… P 2

補正予算賛否分かれる…………… P 4

町の考えを問う…………… P 8

一緒に遊ぼう子育てサロン
(火・水・木曜日図書館で開催)

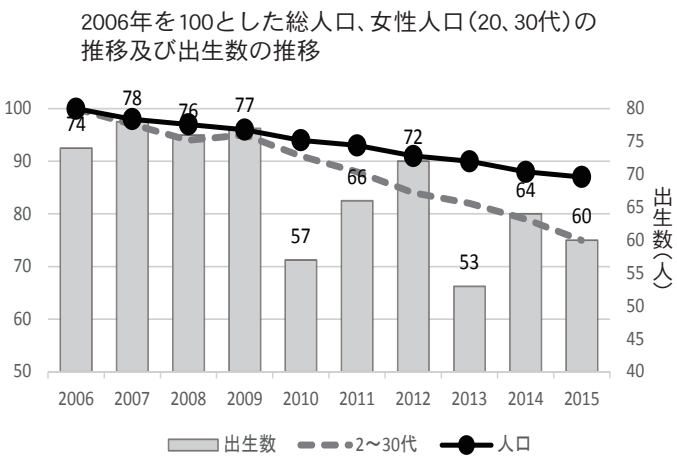
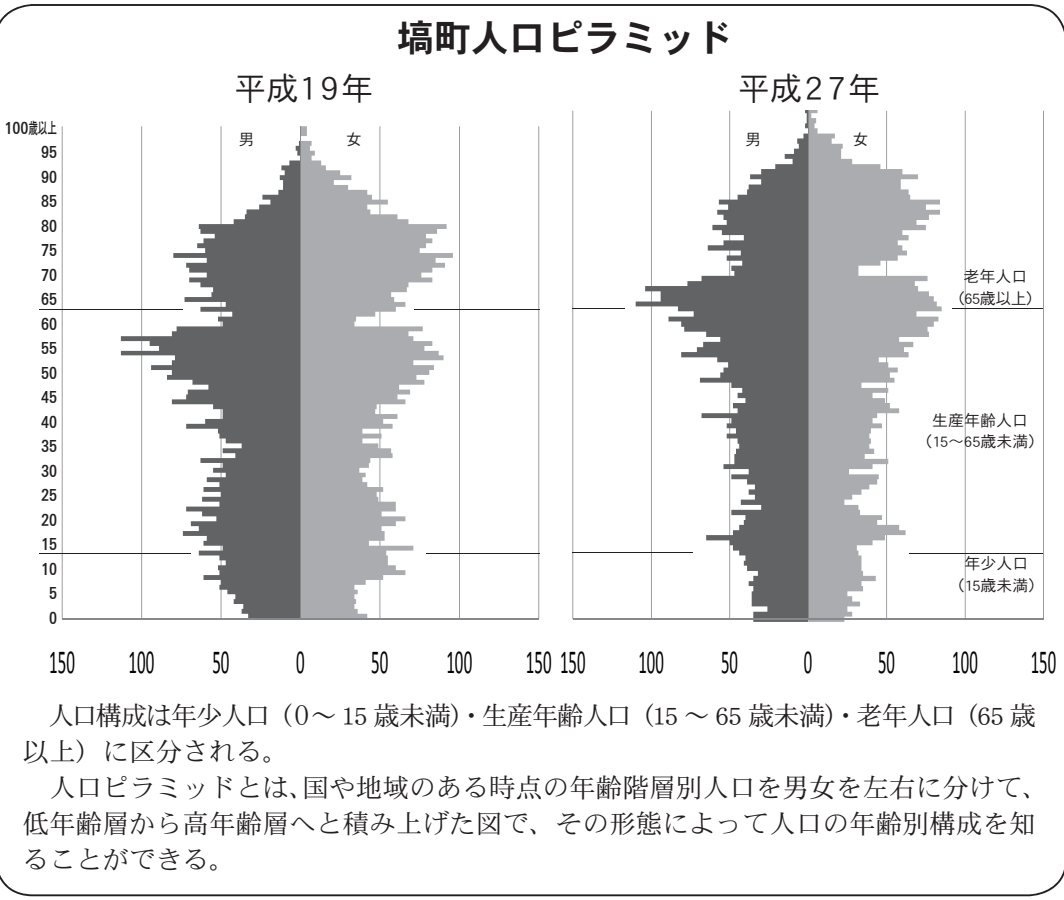
(7議員が一般質問)

待ったなし 人口減少社会



少子高齢化対策調査特別委員会 中間報告

少子高齢化対策調査特別委員会は、調査の中間報告をまとめました。今年4月1日現在の人口は94,355人で10年前に比べ14,977人減少しました。年齢構成をみると、3人に1人は65歳以上の高齢者です。今後、この状態が続くと2人に1人が高齢者になると予想されています。



調査から見えたこと 少子化対策 出生率の向上

埴町の年間出生数は約60人で、ここ数年横ばいですが10年前に比べ約20人減っています。少子化の要因として、出産適齢期の女性数の減少、晩婚化、未婚化があげられます。全国各地で少子化対策として、子育て家庭への現金給付や子育て

進む少子化

上の図は埴町の男女別人口を年齢別に示したものです。およそ10年前と比較すると低年齢の幅が狭くなっていますが、これは少子化が進んでいることを表しています。

また、合計特殊出生率は1.63で、10年前と比べ0.26低くなりました。

出生率比較

埴町	1.63
棚倉町	1.67
矢祭町	1.69
鮫川村	1.61
全国	1.38

(平成24年)

特別委員会現地調査から 子育て環境整備は喫緊の課題

埴保育園では、0歳児の増加などにより園舎が手狭となっている。また、保育士不足で、希望者が入園できない(待機児童がいる)状況である。一方、幼稚園児は減少しており、両者の連携が必要となっている。

小学校では1~3年生を対象に放課後児童クラブが行われているが、利用者が年々増加している。また、4年生以上も対象にしてほしいとの要望がある。

埴小では台宿分館を利用しているが、このままでは面積要件が基準を超えるため、新たな場所を探さなければならない。そのほか、一時預かり制度や子育て相談の充実などきめ細かい施策が求められる。

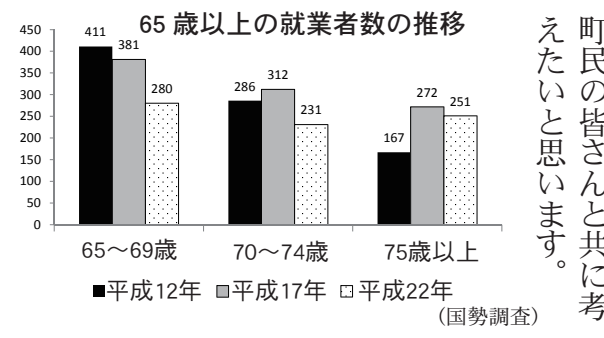
意見

三世同居率が高い都道府県ほど女性の就業率が高く、出生率も高いという傾向がある。同居率の向上も少子化対策に一役買うのではないか。いずれにせよ、子どもを安心して預けられる環境整備は少子化対策にとって重要である。

高年齢化対策 働いて健康づくり

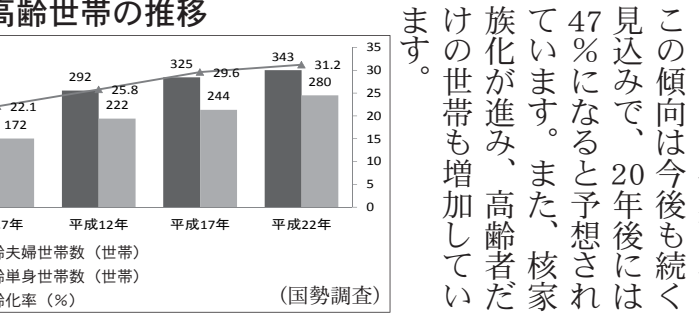
今後、高齢化が進み介護認定者が増加すると予想されています。住宅整備、婚活事業などさまざまなことが行われていますが、これといった決め手は見られません。まずは住民ニーズに的確にこたえられるようきめ細やかな対応が必要です。

が、元気に老後を過ごすことは多くの人の願いでしょう。下の図は、65歳以上の就業者数の推移ですが、75歳以上で増加傾向にあるのに対し、65~69歳では就業者数が減少しています。高齢者が健康で元気に働ける社会づくりが高齢化対策につながるのではないのでしょうか。そのような視点で、今後も調査研究を進め、



町民の皆さんと共に考えていきたいと思います。

少子高齢化により、現役世代が減り、高齢者世代が増えると医療費や介護費は増加しますが、それを負担する担い手は減少していきます。将来の不安は募るばかりです。



埴町の人口推計

	2020年	2025年	2035年
総人口(人)	8,611	7,954	6,752
年少人口割合(%)	9.3	8.7	7.8
生産年齢人口割合(%)	52.3	49.4	45.7
老年人口割合(%)	38.4	41.9	46.5

(国立社会保障・人口問題研究所)

高齢世帯の増加

埴町の65歳以上人口は30,444人で、高齢化率は32.3%に上ります。実に町民の3人に1人は高齢者です。この傾向は今後も続く見込みで、20年後には47%になると予想されています。また、核家族化が進み、高齢者だけの世帯も増加しています。

「2人で1人を支える時代」から「1人で1人を支える」へ
左の表は今後の年齢階層割合の推計です。20年後の2035年は生産年齢人口(現役世代)と老年人口(高齢者世代)がほぼ同じ割合になっています。

6月定例会は6月11日から15日までの会期で開催され、平成27年度補正予算など町提出議案20件を審議し、全議案を可決しました。一般会計補正予算では討論があり、賛成・反対と意見が分かれました。一般質問では7名の議員が登壇、町の姿勢をただしました。

焼酎づくり 賛否分かれる



賛成多数で可決

代表監査

一般会計補正予算（第1号）
 災害復旧費の減
 農村勤労福祉会館リ
 ニューアル工場の増
 はなわの魅力を活かし
 た特産品開発事業の
 増、小中学校太陽光発
 電蓄電設備工事の増

採決結果
 賛成9名 反対3名
 棄権1名

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	△891万円	65億7909万円
国民健康保険特別会計	△2556万円	12億1508万円
介護保険特別会計	55万円	9億4955万円

特産品開発とは
 この事業は、旧焼酎工場（板庭）で特産品としての焼酎造りを行うための事業。今回、基礎調査費用として、1051万円が補正計上された。現在ある施設の一部

修繕、原材料の調達先や生産規模などを調査するもので、福島県の補助金で賄う。
 旧焼酎工場は、平成22年薩摩酒造から購入。現在、放射能検査場や倉庫として利用している。

質疑
焼酎づくり始めるのか
藤田（一） 焼酎づくりは第3セクターでなければ酒造免許が取れないのでは。
答弁 今年度は焼酎づくりのいろいろな調査の予算である。酒造免許は一般法人に取ってもらう。
藤田（一） 焼酎を造る、相手先は決まっているのか、成功する見通しはあるのか。
答弁 相手先は現在、交渉中である。今年度はどういう形がいいか協議を進める。特産品として限定生産でやりたい。
町が手を出すことか
小峰 焼酎ブームは去っており、ランニングコストに合うか、第3セクターでやるのか。
答弁 第3セクターにするか、法人にするかまだ決まっていない。ランニングコストについてはコンサルティング

に委託して調査する。
小峰 候補企業の名前は公表できないのか。
答弁 相談はしているが確定していないので公表できない。
容量不足か
藤田（一） 中学校の太陽光発電は容量不足なのか。
答弁 蓄電機能の設置である。停電したときのための蓄電池である。
街路灯設置
鈴木（茂） 常豊地区の街路灯設置はLEDか、形状は、笹原地区はやらないのか。
答弁 LEDで、前と同じ形状である。笹原地区は要望がない。
PR事業増額しては
藤田（高） ふくしまの恵みPR支援事業業務委託料の目的は、もっと増額してアピールしては。
答弁 マスコミを活用したPR。雑誌に広告を掲載したい。増額は検討したい。
養育支援訪問事業とは
鈴木（幸） 養育支援訪問事業の内容、対象者はどれくらいいるのか。
答弁 母親が病気になり子育てが困難になったとき、ヘルパーを派遣する事業である。現在1名の利用者がいる。
鈴木（幸） この事業は健康相談や検診の事業を通しての利用なのか。
答弁 県の児童相談所から相談があり、取り組んだ。
交付金の推進
吉田 多面的機能支払交付金の推進はどのようになっているのか。今年の交付先は、何力所か。
答弁 農事組合長会議や、回覧で推進している。交付先は西河内、一本木、水元地区である。
道路台帳
吉田 道路施設管理システム導入委託料の内容はどのようなもので、活用方法は。
答弁 住宅地図のイメージがデータベースとして画面で見られる。活用は道路、下水などである。
国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
介護保険特別会計補正予算（第1号）

討論
 議題に対して賛成または反対の意見を述べる。自分の意見に賛同を得ることを目的に行う

討論

賛成
大縄武夫議員
 今回の焼酎づくりは、よく研究し精査してやらなければ同じ失敗を繰り返す。もう手を挙げて賛成するわけではないが、きちんと研究し勉強してよい結果になるよう取り組んでほしい。まだ調査研究の予算であり町に中間報告をしてもいい判断の見直しもできる。今回は活性化対策として、焼酎づくりをやってもらいたい。賛成である。

賛成
小林達信議員
 焼酎を造ることについてはやってみたいとわからない、薩摩酒造撤退の教訓も得られている。大量ではなく少量を造り、埴町の特産品にすればふるさと納税のお礼にも使える。この事業は慎重に前に進めるべきであり、予算に賛成する。

反対
小峰由久議員
 焼酎を造ることについて、採算がとれる事業になるとは考えられない。みすみす赤字になる事業に町が出資することに反対する。別の意欲のある事業所に任せるべきで、この事業を含む補正予算に反対する。

条例の改正

国民健康保険税条例

国民健康保険税の改正
モデル世帯の国保税

・主45歳 妻42歳 子18歳
 の3人家族の例
 収入など(事業収入)300万円
 所得192万円 固定資産税8万円の場合
 2000円の増額となる

	26年度	27年度	比較増減
所得割	8.54%	8.66%	0.12%
資産割	49.81%	48.85%	△0.96%
均等割	36,200円	36,500円	300円
平等割	26,900円	26,200円	△700円

この標準モデル世帯の場合、年税額は30万3200円となり、2000円の増額となります。

介護保険条例

保険料の所得区分第1段階の保険料を3千円引き下げ

学校給食センター設置条例

新センター完成に伴う所在地変更



新しい給食センター

その他

過疎地域自立促進計画の変更について
 道路や橋の補修・改善、テニスコート工事、定住促進住宅整備事業、道路ストック総点検事業を追加

質疑

定住促進住宅との違い

鈴木(安) 定住促進住宅と町営住宅の違いは。定住人口の増加は図れるのか。これからの定住人口促進住宅の建設計画は。

答弁 家賃の設定の違いである。子育て支援型にするか移住型にするかは空き家調査の集計を待ってから決めていく。これからの計画は振興計画で決める。

大字及び字の区域の変更について

国土調査の結果による大字中塚の一部を変更

専決処分

平成27年3月31日に次の6件を専決処分

平成26年度一般会計補正予算(第9号)
 財政調整基金繰入金の減、災害復旧費の増

除雪のための重機借上げ料の減

平成26年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	2551万円	68億556万円
介護保険特別会計	73万円	9億1342万円
後期高齢者医療特別会計	54万円	9億9944万円

税条例等の改正
 消費税10%を前提に改正したものの延長

税特別措置条例の改正
 過疎地域における課税免除を2年間延長

国民健康保険税条例
 国保税の軽減世帯の軽減判定所得の引き上げ

専決処分... 議会で決定することのうち、町長が決定することができること。専決処分をした場合は次の議会で報告し、承認を求めなければならぬ

契約の締結

工事請負契約について
 広域農道西ノ久保地区災害復旧工事
 金額 5724万円
 相手方
 深谷建設株式会社
 田野作地区の災害復旧工事

請願

ツルハドラック進出反

対に関する請願
 請願者 埴町大字埴字大町二丁目32 荒川 達夫

総務文教常任委員会に付託。審査結果は不採択。本会議で起立採決の結果、反対13で不採択となった。

人事

教育委員会委員の任命について
 菊池明夫氏 同意

人権擁護委員候補者の推薦について
 七宮昭子さん 答申

陳情

全13件の陳情

報告

平成26年度繰越明許費繰越計算書について
 翌年度に繰り越す事業は22事業、総額12億7206万1千円

法人の経営状況について

町長は、出資している法人について、毎年経営状況を説明する資料を作成し、議会に報告しなければならない。本町でこれに該当するのは、白河地方土地開発公社と埴町振興公社である。

白河地方土地開発公社

東西白河の市町村が出資し、公有地などの取得、管理処分などを行う。埴町では道の駅整備の土地取得の残額27万3174円が計上されている。

埴町振興公社

営業利益は増益改善したものの、目標を大きく下回り、多額の赤字が続いている。原発事故による東京電力からの賠償金により経常利益は黒字になった。しかし、補償がいつまで続くか不明である



工事中のダリア園

損益

(単位：千円・税抜)

部門	26年度	25年度	増減
営業利益	△36,916	△42,051	5,135
経常利益	3,092	△6,980	10,072
当期純利益	2,447	△8,646	11,093
累積赤字	82,006	84,453	△2,447

る。なお、累積赤字額は8200万6千円になった。

ふるさと納税

寄付者へお礼

第4回臨時会

平成27年6月29日、補正予算、工事請負契約の締結を可決した。今までふるさと納税の寄付者へは礼状のみだったが、町の特産品を贈ることが決まった。広く寄附を呼びかけていくことにした。(詳しい内容は追跡レポートP17)

補正予算

一般会計補正予算(第2号)
 260万円を増額し、補正後の額を65億8169万円とする。ふるさと納税事業の贈答品

質疑
 お礼の品は

藤田(一) お礼の品は

除雪のための重機借上げ料の減

平成26年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	2551万円	68億556万円
介護保険特別会計	73万円	9億1342万円
後期高齢者医療特別会計	54万円	9億9944万円

税条例等の改正
 消費税10%を前提に改正したものの延長

税特別措置条例の改正
 過疎地域における課税免除を2年間延長

国民健康保険税条例
 国保税の軽減世帯の軽減判定所得の引き上げ

専決処分... 議会で決定することのうち、町長が決定することができること。専決処分をした場合は次の議会で報告し、承認を求めなければならぬ

契約の締結

工事請負契約について
 広域農道西ノ久保地区災害復旧工事
 金額 5724万円
 相手方
 深谷建設株式会社
 田野作地区の災害復旧工事

請願

ツルハドラック進出反

対に関する請願
 請願者 埴町大字埴字大町二丁目32 荒川 達夫

総務文教常任委員会に付託。審査結果は不採択。本会議で起立採決の結果、反対13で不採択となった。

人事

教育委員会委員の任命について
 菊池明夫氏 同意

人権擁護委員候補者の推薦について
 七宮昭子さん 答申

陳情

全13件の陳情

報告

平成26年度繰越明許費繰越計算書について
 翌年度に繰り越す事業は22事業、総額12億7206万1千円

契約の締結

工事請負契約について
 農村勤労福祉会館改修工事
 金額 4946万4千円
 相手方
 深谷建設株式会社
 ステージ拡張、LED照明化、冷暖房工事

質疑
 女子トイレの改修だけか
 小林 男子トイレの改修はしないのか。

工事請負契約について
 林道大日向線開設工事
 金額 8316万円
 相手方
 深谷建設株式会社
 常世中野地内400mを施行



改修中の福祉会館

ボランティアと協働の町づくりを話し合いながら進める

質問 町が人口減少に向かう中、ボランティアの方々と連携して協働の町づくりを進めていく必要があると思うが、町長のボランティア組織に対する認識を伺う。

答弁 生きがいを持ち、地域を大切にする、町にはなくてはならない団体である。



花植え作業のボランティア

質問 ボランティア組織の把握状況は。

答弁 まち整備課、健康福祉課、教育委員会、社会福祉協議会が所管する団体が多数ある。

質問 町が組織を統括して情報交換会などを年一回ぐらい開いてはどうか。

答弁 ぜひ代表の方々に集まっていたいただき、町としての感謝の意を述べる場を設けたい。

質問 組織の活動状況や、規模に応じて町から支援することも必要ではないか。また、どのよ

答弁 小中学校にタブレットを導入しては、多様な教育をしてはどうか。

質問 小中学校にタブレット導入しては、多様な教育をしてはどうか。



タブレット端末を体験

うな団体がどのように活動しているか、町の広報などで周知すべきである。

質問 県内の学校の導入状況と県の対応は。

答弁 (教育長) 試行的に15%の学校が導入している。県では奨励していない。



鈴木 茂

河川のごみ
流木撤去を
県と協議して
進める

質問

環境美化や、観光客誘致の観点から、河川内のごみや流倒木を撤去すべきと思うがどのように考えるか伺う。

答弁 河川を管理する県と協議して、撤去を要望していきたい。

わが町も人口減少は止まらない、町はボランティア組織の方々との協働のまちづくりを考えるべきだ!

ダリアを使った地域活性化はダリア園をリニューアル



藤田 高志

質問 「ダリア園」での癒し「ダリちゃんの活躍」など、埴町知名度アップによる、さらなる地域活性化に取り組みを考えて伺う。

答弁

ダリア園のリニューアルに加え、現在、行っている老人クラブ・学校・地区単位での花づくりをさらに推進していく。商工会などと連携し「ダリア美人コンテスト」などを開催し、優勝者を観光大使としてメディアに活用することも考えられる。埴町の花であるダリアをアピールしたい。



ダリちゃん はなわをPR

♪「花」と「和」のある「はなわ町」♪
代官さまもダリちゃんも観光産業がんばっぺ!
みんなで元気の埴町つくっぺい!

質問

代官所跡と「寺西八ヶ条」のストーリー化など、観光拠点としてさらなる取り組みについて伺う。

答弁

代官さまの住んでいた所でもあり、何らかのご利益がある場所にした。地元の話人・商工会・TMO・はなわ代官にぎわい座、加えて商店街の皆さまと協議・連携し、歴史文化の発信地としての利活用を推進したい。

今後は、TMOをコーディネートとして商店街のイベント事業の開催など、皆が楽しめる場所としたい。道の駅からの導線として商店街へ、中心市街地の滞在できる拠点の取り組みも検討していきたい。

「代官所跡」に加え、向ヶ岡公園には「寺西神社」もあり、関連する道の駅の「田中蔵蔵処刑跡」を線で結び、



整備された代官所跡周辺

歴史観光ルートとして位置づけ、物語のあるものにした。町政60周年にあたり具体的な事業を検討している。

このほかの質問

・中核医療機関のある埴町の健康寿命の延伸策について

マイナンバー制度の状況は 本格実施に向け準備

質問

③マイナンバー制度導入にあたり地方公共団体情報システム機構が整備する中間サーバーと庁内の業務システムを連携させる画面の改修など、システム整備の準備状況を伺う。

答弁

平成27年度はプログラムの結合、総合テスト、団体内の連携テストを。28年度は運用テストを行い、29年度の本格実施に向け準備していく。

④マイナンバー（個人番号）・国民一人ひとりが持つ12桁の番号。平成28年1月から社会保障、税などの手続きで必要になる

あなたにも、マイナンバー。
はじまります。



平成27年
10月から
マイナンバーを
一人ひとりに
お届けします！

平成29年度から本格実施



鈴木 孝則

質問

情報漏えいは外部からの攻撃が2割、内部からが8割といわれている。ウイルス対策ソフト導入などセキュリティ対策と人為的ミスは起こることを前提に、漏えいした場合の対策を考えておくべきではないか。

答弁

⑤エルジーワンに防壁されているが内部対策としては職員研修を行っている。不審なメールは開かない、感染した場合はネットワークを遮断する、パスワードを設定し担当職員しか開けないようにするなど対策を

講じる。⑥セキュリティポリシーを制定したがさらに職員の教育を徹底していく。

⑦LGWAN・・・高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク

⑧セキュリティポリシー・・・組織内のセキュリティに関する基本的な方針や行動指針

質問

10月には番号通知が実施され、来年1月には利用カード交付が始まるが周知が始まっている自治体もある。制

⑨マイポータル・・・行政機関がマイナンバー（個人番号）の付いた自分の情報をいつ、どことやりとりしたのか確認できるほか、行政機関などへの手続きを一度で済ませる機能

⑩制度の利用範囲や手続きなど、周知を7月から8月の広報はなわやIP告知電話で行っていきたい。

答弁

⑪マイポータル・・・行政機関がマイナンバー（個人番号）の付いた自分の情報をいつ、どことやりとりしたのか確認できるほか、行政機関などへの手続きを一度で済ませる機能

地方創生の方向性は 魅力を生かした町づくりを



小峰 由久

質問

まち・ひと・しごと創生法が成立し、町が今回、立ち上げたプロジェクトチームに与えた方向性を伺う。

答弁

やる気のある自治体を応援する法律である。町づくりは若い職員に期待している。広く意見を聞き、勉強してほしい。

質問

⑫地方創生を考える中に「シティ・プロモーション」という方向性が示されている。⑬自治体の認知度を高める⑭情報交流人口、定住人口増



プロジェクトチームが組織された

もの言う町民 もの言う議会
働く町民 働く議会 活気あふれる住民 活気ある議会
楽しい埴町 いいね

進まない健康

福祉センター

年内に提案

質問

健康福祉センターの計画が遅々として進まない。私は以前から、

⑯2階を高齢者住宅、3、4階を子育て住宅、5階を町民のスポーツジムとして提案している。縦割り行政を越えた地方創生事業を活用する今がチャンスと考える。

答弁

多くの意見を一つにまとめ、補助金を検討しながら年内に提案したい。

質問

⑰高齢化が進む町として「コンパクトシティ」をどう考えるか。

答弁

基本的に賛成であるが、理解を得ないといけない。年齢により考え方はさまざまである。

⑱コンパクトシティ・・・都市の中心部に行政、商業、住宅などさまざまな都市機能を集中させること

入会共有地解消の考えは登記上は可能

質問
町では入会林野整備事業分担金徴収条例が制定されている。これまでどのような整備事業を実施したのか。

回答
入会林野・・・集落など一定地域の住民が昔からの「きまり」や「おきて」などの慣習に従って、木材、薪炭、萱などを採取するため共同で利用する山林原野。

質問
入会林野共有地の現状を町では把握しているのか。

回答
入会共有地としては把握していない。権利上の共有地は多数、存在している。

共有林〇〇外△名の名義の土地については、県道改良工事において用地取得する上でも支障を来している。3代前の名義人共有地は登記に時間と労力がかかるので前に進まない状況。
要望があった上渋井地区は、補助事業を活用し、調査測量を実施。個人への所有権移転登記を完了した事例がある。

質問
入会林野共有地を地縁団体として町が認定し、個々の個人共有地を所有権移転により入会林野整備事業で解消して行く考えがあるか。

回答
認可地縁団体になれば法人格を得て土地の所有ができる。登記上の解消は可能と考えられる。
地縁団体・・町や字の区域、その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体で、いわゆる自治会・町内会など



吉田 克則

ゴミポイ捨て防止策をパトロールしている

質問
コンビニなどから購入したと思われる弁当、空き缶などゴミが道路にポイ捨てされているが現状は。

回答
環境美化推進員が週一回、町内をパトロールし、ゴミを回収している。また、道路を中心に不法ゴミを回収している。

質問
「きれいな町づくり」の一環として、不法ポイ捨て防止条例を制定



一斉清掃でゴミを回収

「自宅の周辺」「愛車の車内」などにゴミを投げ捨てる人はまずいないと思っています。ですが道路などにポイ捨てされている。ゴミはどこから来るのでしょうか？

回答
する考えは。関係者の意見を聞き、郡内4カ町村の動向も視野に入れながら検討してみたい。

全子育て世帯の支援を検討したい



小林 達信

質問
保育園の保育料は所得によって差があるが差をなくして値下げできないか。

回答
出産祝い金を支給してはどうか。財政的な問題もある。

質問
子どもを遊ばせる場所がないと聞く。遊ばせる場所の確保をどう考えるか。また、子育ての悩みなどが話し合える交流の場も一緒にあればよいと思うが。

回答
所得に応じて納めていただく。額は民間の保育所もあるので十分検討したい。

質問
子どもを遊ばせる場所がないと聞く。遊ばせる場所の確保をどう考えるか。また、子育ての悩みなどが話し合える交流の場も一緒にあればよいと思うが。

回答
子どもを遊ばせる場所がないと聞く。遊ばせる場所の確保をどう考えるか。また、子育ての悩みなどが話し合える交流の場も一緒にあればよいと思うが。

質問
きめ細かい子育て支援のためには、町内全体的な子育て家庭の経済状況や家族構成など把握が必要だと思いが。



子育てしやすい環境を

質問
園外研修は年14回、園内研修は年12回行っている。

回答
園外研修は年14回、園内研修は年12回行っている。

質問
常豊地区で65歳以上を対象に試験的に乗り合いタクシー運行を実施した。対象の拡大は今後、検討したい。

回答
常豊地区で65歳以上を対象に試験的に乗り合いタクシー運行を実施した。対象の拡大は今後、検討したい。

質問
小さい子どもを持つ母親などが利用できる乗り合いタクシーを運行してはどうか。

回答
常豊地区で65歳以上を対象に試験的に乗り合いタクシー運行を実施した。対象の拡大は今後、検討したい。

若者の結婚促進を地域でイベント実施

質問
少子化対策には結婚が大切。結婚促進のための部署を設けて新たな施策を行う考えはあるか。

回答
少子化対策には結婚が大切。結婚促進のための部署を設けて新たな施策を行う考えはあるか。

子育て事業の一本化を問題がなければ進める

質問
それぞれ違った部署で実施している子育て事業を一本化できないか。

回答
それぞれ違った部署で実施している子育て事業を一本化できないか。

一般質問

一般質問

地域づくりが進んでいるのか 具体的取り組みはない

質問
在宅医療・在宅介護を一体的に提供できる体制づくり・主要施策「地域で支え合うまちづくり」の推進状況を伺う。

要介護者との関わりのある人が買い物や掃除の手伝い、様子を見たなどヘルパーの資格なしでできる日常生活支援。町としては具体的に考えていない。

質問
在宅医療・在宅介護の確立に疾病予防・治療・健康管理・相談のできる「かかりつけ医」が重要課題。開業医の誘致について考えは。

答弁
開業医の誘致は非常に大切である。医療環境の充実のため県・医師会・厚生病院などへの要望活動を継続する。

質問
認知症患者の徘徊など所在確認できるQRコードの導入を検討してはどうか。

答弁
財政面を考慮しながら導入を検討したい。



鈴木 幸江

期待しています！
安全・安心なまち はなわ
住みたくなるまち はなわ

答弁
現段階で具体的取り組みはない。年々、要介護者が増加し、介護従事者が不足している。地域で支え合う仕組みを作らないと立ち行かなくなることは明白。平成29年度までに実施できるような具体的に取り組む。



在宅医療を推進する埴厚生病院

質問
認知症政策の充実をどう進めていくのか。

答弁
認知症サポーターを養成し認知症への理解を進めてきた。今後も養成する。本年度第6次計画で郡内4町村共同で「認知症初期集中支援チーム」事業を検討する。また、「認知症地域支援推進員」を養成・配置し、家族の相談業務の充実を図る。

質問
空き家調査実施計画と今後の対策を伺う。

答弁
地域創生先行型・地域の魅力増進事業で取り組む。調査期間は本年度中、業者委託し、区長から情報を得る。所有者の意向調査に基づき適正管理及び定住促進に向け、ホームページなどで全国に発信し、活用を図る。

空き家調査の利活用は 定住・移住促進を図る

活動状況をお知らせします

主な内容は次ページでお知らせします。

議会活動出欠状況 平成27年4月1日～6月30日

年月日	会議名称	藤田高志	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	鈴木孝則	鈴木幸江	小貫初枝	割貝寿一	大縄武夫	小林達信	藤田一男	藤田恵二	鈴木道男
27.4.7	広報常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
27.4.8	少子高齢化対策調査特別委員会	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.4.14	広報常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
27.4.17	広報常任委員会	私用	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
27.4.22	少子高齢化対策調査特別委員会	私用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.5.1	総務文教常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	—	—	○
27.5.13	少子高齢化対策調査特別委員会	○	○	○	私用	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○
27.5.13	林業振興対策調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.5.20	広報常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
27.5.22	経済厚生常任委員会	—	○	—	○	傷病	—	—	私用	○	—	—	○	○	—
27.5.22	議会研修（埴町）	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.5.28-29	議会研修（東京都）	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	私用	○	○	○
27.6.3	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	傷病	—	○	○	○	—	—	○
27.6.8	全員協議会	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	私用	○	傷病	○	○
27.6.8	総務文教常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	私用	—	—	○
27.6.11-15	第3回埴町議会定例会（6月）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.6.11	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
27.6.11	総務文教・経済厚生常任委員会合同連合審査会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.6.11	総務文教常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	○	—	—	○
27.6.12	広報常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
27.6.15	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
27.6.15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○
27.6.15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○
27.6.29	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
27.6.29	第4回埴町議会臨時会	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.6.29	少子高齢化対策調査特別委員会	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27.6.29	広報常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—

○出席 —該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由なく欠席すると罰せられることがあります。今回から議員の出席状況を掲載します。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・同居親族の葬儀（忌引）、病気、けが（傷病）、突発的な事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由以外の欠席の場合は私用としました。

追跡レポート ～ 一般質問のその後 ～

過去の一般質問の中からピックアップしその後の動き、現在の状況を調査しました。

ふるさと納税で町活性化

6月29日開催の臨時議会で「ふるさと納税事業」寄付者へのお礼の品、広報用パンフレット作成費として250万円が議決された。(贈答品150万円・広報用パンフレット100万円) P4に質疑を掲載

埴町のふるさと納税制度は豊かな山、清らかな水、美しい花を守り育て、個性豊かな活力あるふるさとづくりに役立てることを目的に平成20年度から始まった。平成26年度末までの寄付総額が2901万6800円、90件の寄付があった。

ふるさと納税のお礼の品は、竹パウダーを使用した食味値の高い米や野菜の農産物、ダリア、温泉利用券などで町の活性化につなげたい考えである。パンフレットは目で見て、さらに美味しく感じるように作成し、インターネットでのPRもしていく考えである。ふるさと納税事業で「はなわ」を実感していただくチャンスと期待する。

問い合わせは、総務課 電話43-2111までお願いします。

e-mail: soumu@town.hanawa.fukushima.jp

質問 ふるさと納税で町の活性化・PRをしてはどうか。
答弁 検討中である。27年度予算に反映させようとしたが贈答品を特定するには至らなかった。特産品開発などにより準備ができた段階で予算化したい。

(平成27年3月定例会)

議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおむね10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局(Tel 43-2150)をお願いします。

児童生徒は正しくSNSを使っているか
5月1日

総務文教常任委員会は各小中学校長から児童生徒の携帯電話やパソコンなどSNSの利用状況について調査を行った。

小学生は、携帯電話やスマートフォンよりゲーム通信が多かった。現在は大きな問題はなかった。各学校とも火曜日をノーメディアデーとして、テレビやパソコン、携帯電話に触れない日とし、各家庭で取り組んでいる。今後も調査を継続する。

町道管理、保健推進員事業を調査
5月22日

経済厚生常任委員会は町道の管理と保健推進員事業について調査した。

上渋井と赤坂の町道を現地調査した。上渋井には工業団地があり、大型車両などの通行量が多い。今後も調査を継続する。また、保健推進員の活動について担当課より説明を受けた。

あらためて一般質問の在り方を学ぶ
5月22日

福島県町村議会議長会の吾妻総括参事を講師に「一般質問の在り方」について研修を行った。

地方創生を学ぶ
5月28・29日

明治大学(東京都)で「日本創造学会第7回研究大会」に参加。「人口減少と高齢化への挑戦」自治体・地方議会の知恵」と題した地方創生について講義を受けた。

赤字はどうなる湯遊ランドはなわ
6月11・15日

6月定例会会期中、湯遊ランドはなわの総支配人から(株)埴町振興公社の経営状況について聞き取り調査を行った。

また、石川代表監査委員から決算書からみた埴町振興公社の経営について説明を受けた。経営状況は依然として厳しいが、町民全体で利用し、応援していく必要がある。

宮城県山元町議会運営委員会来町
5月12日

議会活性化の取り組みについて意見交換を行った。



これを見れば議会がわかる

埴町議会ではホームページやフェイスブックで活動状況をお知らせしています。

自筆の活動報告書や賛否の状況、会議などの出欠、議会だよりに掲載できない情報はこちらに掲載しています。埴町議会で検索

埴町議会 Q 検索

議会だよりモニター会議開催 8名に委嘱状交付

5月13日今年度の議会だよりモニターへ委嘱状を交付した。年間4回発行される議会だよりや議会活動に対する意見を議会に届ける役割を担う。

- 議会だよりモニター
- ・荒川 良作さん(常世中野)
 - ・有坂 麻美さん(台宿)
 - ・石井 久雄さん(真名畑)
 - ・大縄 剛さん(栄町)
 - ・上妻 ゆきさん(西河内)
 - ・白石真奈美さん(川上)
 - ・戸井田尚子さん(本町)
 - ・松本 修さん(川上)



委嘱された議会だよりモニター

議会だよりモニターさんの声

(前号の感想)

- ◆表紙について
- ・子どもばかりでは広報はなわとかわらない。一目で議会だよりとわかるものを。読まなければいけないと思わせる表紙、内容を。
 - ・子どもたちの表情が生き生きしている。対応 今後、検討する。

- ◆記事内容について
- ・一般質問の内容が希薄。町民一人ひとりに近い質問をしてほしい。もっと大切な問題がある。
 - ・質疑や答弁は、もう少し踏み込んだ内容の事項があってもよい。
 - ・対応 一般質問のあり方について研修した。

- ・親子で学べるような、わかりやすい紙面にしたい。
- ・対応 小学生でも読みやすい紙面にしたい。

改善点

- ・数字の表記は横書きが見やすい。
- ・対応 数字の多いページでは対応する。

◆その他・全体への意見

- ・弱者の声を受け止め、住んでよかったと思える埴町を目指してほしい。
- ・もっと若い世代の意見をリアルタイムで届けてほしい。

皆さんの団体やサークルに議員が伺います。

団体の名称：西河内ゲートボール会

活動場所：「西河内分館前グラウンド」

代表者：齊藤昭一郎さん TEL 43-2731

頭を使い、体を使い、
みんな元気に



西河内ゲートボール会は結成約40年、会員17名で毎週、日曜日と水曜日の午前8時からゲートボールの練習に励んでいます。取材時は、前日に雨が降ったためタオルを使い、水を吸い取り、グラウンドを整備。ベストな状態で練習を始める皆さん。

地区大会などに70回出場し、これまで数えきれないほど優勝しているそうです。

ゲートボールは5人のメンバーが助け合い相手チームを攻撃しながら全員ゴールを目指します。

適度な運動と攻守の戦略を考えるので頭を使う健康的なスポーツです。また、練習でみんなが集まり、お茶を飲み、よもやま話で楽しく笑うのが楽しみです。

練習目標は？との質問に「若さを保ち健康づくり」、出場する大会では優勝すること、はつきり答えていただきました。会員の皆さんこれからも元気で活動を続けてください。

編集後記

議会では少子高齢化対策調査特別委員会と林業振興対策調査特別委員会を立ち上げました。現状を把握し課題解決を目指すものです。

今回の「議会だより」は、わが町が町としていかに継続し続けられるか人口減少問題をメイン記事として取り上げました。人口が減ると言うことは寂しいものです。

まもなく5年に一度の国勢調査が始まります。全国の人口動態も分析されるでしょう。何事に対しても前向きに考えることが大切だと思います。本年は町政施行60周年の節目の年です。

吉田 克則

議会傍聴に おいでください

次回の定例会は、9月9日から開会される予定です。決算の認定などを審議する予定です。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

広報常任委員会

- | | | |
|------|------|------|
| 委員長 | 鈴木 幸 | 江則 茂 |
| 副委員長 | 吉田 克 | 高 志 |
| 委員 | 鈴木 高 | |
| 委員 | 鈴木 高 | |
| 委員 | 鈴木 高 | |

※議会議録は、図書館・議会事務局、またはホームページでもご覧になれます。